



富田、阪谷、勝原の三橋完成

富田、阪谷、勝原の三橋完成
モチまきでにぎわう

県道南六川師・大野線の九頭竜川と真名川にかかる東、西五箇橋、勝原・小池線の九頭竜川にかかると勝原橋の災害復旧は35年10月に総工費1億7千823万7千円で、着工いらい9年ぶりて立派な永久橋が完成、橋名も東五箇橋は阪谷橋、西五箇橋は富田橋と改名されました。三大橋の落成式は11月29日、富田大橋

の渡りおめ、餅まきなどが行なわれ約9千人の人出でにぎわい、完成を祝いました。工事のあらまはつぎのようです。
○ 富田大橋
昭和35年10月、総工費8千50万4千円で着工、延長256メートル、幅6.8メートルの鉄筋コンクリートゲルバー桁(けた)橋として97年11月完成。
○ 阪谷橋
95年10月、総工費5千448万円で着工延長210メートル、幅6~4.5メートルのP.C桁橋として97年10月完成。
○ 勝原橋
95年8月総工費4千925万2千円で着工延長122メートル、幅5.3メートルのP.C桁橋で、内47メートルはポニートラス橋として97年10月完成。
(写真は完成した富田大橋と坡功式)

発行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-9600
夜間 6-9601
印刷 松浦印刷所



Table with population statistics for November: 出生 男 28 女 22 計 45, 死亡 男 15 女 19 計 34, etc.

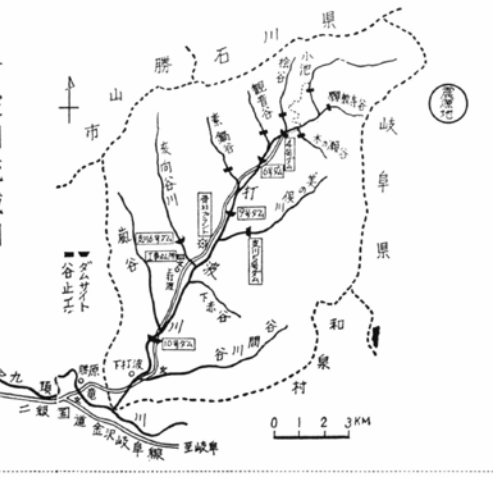
おもしろいこと
【1面】△富田大橋など9橋完成△打波川復旧工事始まる△池田助役、松田収入役、三選△田収入役を三選△市の人事
【2面】△第1回市婦人大会△市安全協議会発足△市営造林110ha△唯野勝原間開通△シイタケの不時栽培

総工費31億円
打波川復旧工事はじまる

県では、ことしから9カ年計画、総工費31億円、打波川流域の全面的な災害復旧をすることになり、その起工式が11月12日打波中学校で、北知事をはじめ森田市長ら関係者約150人が出席して行われました。
復旧工事は、昨年の北米濃地震、第2室台風と相次ぐ災害でくずれた奥山の土砂約900万立方メートルが打波川や本川の九頭竜川に流れこむのを防ぐためです。
計画によると、20億8千700万円が打波川と支流の谷に高さ25~19メートルの大小6つの砂防ダムを建設、2億円が、県道勝原・小池線の勝原~鳩が揚間の道路拡張、ダム建設による道路の付け替え、32カ所の部分復旧、6億4千万円が地形もなくなった鳩が揚~小池間の道路、橋の復旧、6千400万円が48カ所の砂防えん堤などの復旧工事がおこなわれることになっています。



打波川流域図



12月4日から各地区で
市長を囲む懇談会

市長を囲んでの市政懇談会が12月4日から各地区ごとに行われます。
新年度の予算編成を前に、直接皆さんのご意見、ご要望をお聞きして、住みよい大野市の建設と明るい市政の推進をはかるためです。この機会にひとりでも多く参加して、日頃考えていられているいろいろなご意見をお聞きかせください。なお、日時については、各事務所属議員の方へお知らせいたします。

池田助役、松田収入役三選
第58回臨時市議会

任期満了となる助役、収入役の選任について議会の同意を求める第58回臨時市議会は、11月21日から開かれ、11日間にわたって慎重審議が続けられ、12月1日にそれぞれ選任に同意されました。
議案88号 助役の選任について
11月30日で任期満了となった池田卓親氏(51)の三選に同意されました。
議案89号 収入役選任について
11月26日で任期満了となった松田利吉氏(62)の三選に同意されました。
議案90~91号 専決処分報告について
1、公有林整備事業費として、農林漁業金融公庫から250万円の起債をする
2、県が加越国境一帯と雁ヶ原を新しく奥越高原県立公園の地域に指定し

たいとの諮問に対して専決処分したので議会の承認をえました。

人事異動 (12月)

- 林務課長 松田孝信(総務課財政係長)
保健衛生課長 羽生敏夫(農場長)
農務課長 印牧弥右衛門(教委庶務課長)
総務課長 笹島貞一(商工課長)
退職 安川金弥(教委社会教育課長)
教育委員会庶務課長 山村清太郎(林務課長)
社会教育課長 野崎四郎(保健衛生課長)
市民課課長 沢田武雄(農場庶務係長)
税務課第二課課長 出村外志雄(市民課課長)
総務課財政係長 小林亮之介(総務課)
商工課開発係長 福島実(建設課)
建設課都市計画係長 大谷忠一(建設課)
農場庶務係長 畑中則夫(福祉事務所)
農場指導係長 千田巧(農場)
福祉事務所勤務 安川清治(富田出張所)
森本利勝(保健衛生課)
商工課勤務 川端正毅(市民課)
税務課勤務 斎藤たきの(農場)
松原定子(市民課)
中島 甫(林務課)
前田カズエ(農場)
市民課勤務 神谷修子(税務課)
建設課勤務 指岡勲(五箇出張所)
長谷川絹子(総務課)
富田出張所勤務 佐藤善夫(福祉事務所)
五箇出張所勤務 小島紀男(建設課)

暖かい心を同情袋へ
年末助け合い運動

年の瀬も近づき、寒さは日ごとくきびしくなつて、身寄りもなく働くこともできないお年よりや子供のために、皆さんの暖かい心をお寄せください。
市では毎年生活に恵まれない方のために歳末の助け合い運動を行つております。ことしも皆さんの暖かい心によってこれら尊厳のうちに協力し、お正月を迎えてもらうよう、この運動をすすめることになっています。
近いうちに同情袋を各家庭に配つていただきますから、お金90円以上または米9合以上を入れてご協力ください。
昨年皆さんから寄せられたお金は29万4千117円で、市内の生活保護、準保護家庭や社会福祉施設の方々へ贈られました。

市民年賀会

市民が一堂に会し、新年を祝い親しみをふかめる恒例の市民年賀会は、明年1月1日午前10時から市役所大会議室で開かれます。参加ご希望の方は、会費100円を添えて12月20日までに市総務課または各出張所へお申し込みください。

火災
当市の昭和三十一年度の火災発生件数は二十五件、損害総額は一億五千万九千八百〇円。これに比べて昭和三十一年十一月末現在で二十一件の発生件数で、五十七万五千九百〇〇円の損害額である。業種は許されぬが一億円の減で防火意識が高揚された証拠だと思ふ。最近の出火原因を見ると以前よりは新しいものが加わつてきた。カマド、煙草の吸がら、子供の火遊びの順には変らず電気器具、配線器具、内燃機関、石油コンロ、石油ストーブ、重油パナール、モーターなどがその例である。ここ数年間急速に普及をみたこれらの家庭器具などはよつと油断と、知識の不足から思ふぬ事故を起すことになり、文明の利器は文明人によつて使われなければならない」と言いたくなる。交通事故にしても然り。▼次に万一出火したときに消防署に通報することである。火の手が屋根を破つてもなお通報がないとすると、誰かがもうとつと消防署に通報したのだらうと思つて居るのである。もちろん初期防火は必要であるが、同時に通報も速やかにすることが肝要だ。ことしは三十二年ぶりの大旱ばつといふが水の少ない季節でもあるのである。なお水は火災予防に留意したいものである。煙突のすす払いやカマドのつくろいは申すに及ばず、農家のついでに使われる耕うん機用のガソリンバイク、オートバイ、自動車のガソリン、その他の燃料の始末はどうなつて行っているだろうか。▼空に行き交う雲は行きはげしきの如く何かと師走の月は多忙である。冬を迎える忙しさから、身近にされ、しかも大切なことがおぼろげにされる懸念がある。もう一度身辺をふり返つて整理しておく。新しきよき年を迎えるためにも。



アホナコッチャ〜
クリスマス近づく
「青一色になりました」
―七面鳥―
あほなこッチャ〜

# 婦人の地位と家庭の向上を 第1回大野市婦人大会開かれる

第1回大野市婦人大会は10月27日午前9時から市役所大会議室で約250人の婦人と関係者が参加して盛大に開かれました。この大会は、うつり変る社会において主婦の果たす役割がどんなに重要であるかを自覚し、みんなで考え研究しあつて婦人の地位を高め、よい家庭を築いていこうと開かれたものです。

午前中は服部正先生(大阪社会事業短大)の「マスコミと主婦の態度」「くらしの中の文化」について講演を聞き、昼休みは各地区のかくし芸や歌で楽しみました。

午後は△マスコミと青少年教育△家庭における主婦の役割△家庭経済と主

婦のあり方△婦人と政治、の4つの分科会にわかれそれぞれのテーマで助言者をまじえ熱心に話し合いが行われ、みんながしつかりと手をつないで話し合い研究し合う場をつくり、私たちの意見を正しく盛り上げて進みましょうと誓つてこの日程を終えました。

(写真は集つた主婦たち)



副会長 野尻源(市議会議員)  
" 松田隆太郎(商工会議所会頭)  
理事 小林百助(労務署長)ほか12名。  
監事 松原良雄(保健所長)ほか2名。

また事業計画は、本年度の残り期間が少ないので、つぎの3点について実施するよう申し合わせました。

- 1市内の大通りに横断幕を設置する。
- 2各事業所などに安全ポスターを配る。
- 3安全確保に関する研究会を行う。

## ポスターなど配布 大野市安全協議会が発足

大野市安全協議会設立総会は11月15日午後2時から市役所大会議室で開かれました。市長、市会議員、大野警察署長、同土木出張所長、区長会長、婦人会長ら地元各界の代表90数名が出席して、安全協議会規約、事業計画および収支予算について審議したあと、役員にはつぎの諸氏が選ばれました。

会長 森広治兵衛(市長)



シタケの需要は年々多くなる傾向で、栽培技術も一段と向上して、自然の発生期以外に必要な時期に出荷できる不時栽培が盛んにおこなわれています。昨年市内では西大月、中保で共同栽培がおこなわれ、生で400グラム100円という高値で売られ、多くの収入を得ております。

市ではこれを特産として年中広く市場に出荷できるよう、とくに交通の便利な市街地周辺を中心に不時栽培を奨励しております。そこで冬期間に出荷

できる促成栽培の方法について簡単に記載します。

### 1.まず温室が必要です。

温室は、風当たりの少ない南か南東に面した暖かい場所、水の便、排水のよいところを選んでください。構造は室内温度が常に19~18度であるよう工夫することが大切です。大きさは最大16平方メートル程度で、高さは2メートル以下がよく、半地下とすればなおよい、太陽熱を有効に利用できるように、南側の屋根は90度位の傾斜で、不透明なビニールかポリエチレン膜りとしてください。温室には高い費用をかけず、使用するホダ木に応じて、むね敷を増やすことが望ましい。ホダ木は並べ方によつて異なりますが、9.9平方メートル当たり50~100本収容できます。

### 2.ホダ木を準備する

## 「奥越高原へどうぞ」

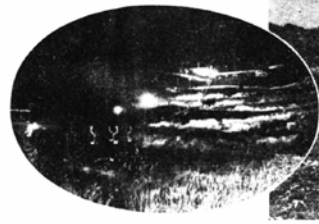
先月号で「ナイターもOK」といわれた六呂師スキー場の完成をご紹介しましたが、そのほか、三角山頂上に奥越高原を一望におさめる展望台や、「奥越高原県立公園」と、あざやかに書かれた標識塔などができました。

11月19日に知事、市長をはじめ各関係者の方々(約50名)があつまつて展望台の落成、標識塔の除幕、スキー場の初点検などを祝つて式典を行いました。

四季おりおり、移りゆく自然の美しさを一望におさめる展望台は、ハイカー達やまた一家団らんのごよきさい

いの場となり、29個の水銀灯に照らし出された雪原は、あやしいまでにロマンチックなムードをただよわせ、若者たちのシユプールをえがかせることでしよう。

(写真は標識塔と夜間照明)



## 人権を守る運動

ことしも12月4日から10日までの1週間、「人権週間」として、わたたちの人権を守る運動が全国的にくりひろげられます。ことしはこの運動がはじまつてから、ちょうど14回目にあたります

この14年の間に人権尊重の思想は非常にきおいでゆきわたつてきました。ことしも、県内の市有林4ヘクタールと中秩、上荒井の各共有林3ヘクタールの分収造林を行なうことになり、杉95,000本の植林が終了しました。

これまでに市が植林した面積は110.9ヘクタール、その内54.3ヘクタールが市有林、56ヘクタールは分収造林となつております。これらの植林地は40

年後には4億4千万円余りの市有財産を生むことを約束しています。

将来の市有財産をつくるため、市充足以来毎年市有林の造林をはじめ部落共有林との分収造林をおこなつています。ことしも、県内の市有林4ヘクタールと中秩、上荒井の各共有林3ヘクタールの分収造林を行なうことになり、杉95,000本の植林が終了しました。

これまでに市が植林した面積は110.9ヘクタール、その内54.3ヘクタールが市有林、56ヘクタールは分収造林となつております。これらの植林地は40年

後には4億4千万円余りの市有財産を生むことを約束しています。

植林には補助金 受付は12月20日まで

ことしは天候に恵まれたことなどから、市内の植林は順調に進んでおり、その面積は個人、団体をあわせて約180ヘクタールと推定されています。これから植林の中では10アールあたり250本以上の植林地については、県と市で補助金を出し、この事業を奨励しています。補助金交付申請書の受付期間は12月20日までとなつておりますので、ことしすでに植林を終えられた方は、すぐに市林務課へ補助金の交付申請書を出して、検査を受けられるようお願いいたします。

年末になると平常の数倍に達する郵便物が殺到するので、皆さんにご迷惑のかかることのないよう、つきのことにご協力をお願いします。

◎小包郵便物は15日、年賀ハガキは22日までにお出しください。

◎会社などで年始に休業するところは希望により引日に配達します。

◎古状(封書)は、ことしから年賀特別扱いをしないので、差し出し時期に注意してください。(郵便局より)

## 市営造林 110ヘクタール 40年後に4億の財産

これまでに市が植林した面積は110.9ヘクタール、その内54.3ヘクタールが市有林、56ヘクタールは分収造林となつております。これらの植林地は40年

後には4億4千万円余りの市有財産を生むことを約束しています。

植林には補助金 受付は12月20日まで

ことしは天候に恵まれたことなどから、市内の植林は順調に進んでおり、その面積は個人、団体をあわせて約180ヘクタールと推定されています。これから植林の中では10アールあたり250本以上の植林地については、県と市で補助金を出し、この事業を奨励しています。補助金交付申請書の受付期間は12月20日までとなつておりますので、ことしすでに植林を終えられた方は、すぐに市林務課へ補助金の交付申請書を出して、検査を受けられるようお願いいたします。

植林には補助金 受付は12月20日まで

ことしは天候に恵まれたことなどから、市内の植林は順調に進んでおり、その面積は個人、団体をあわせて約180ヘクタールと推定されています。これから植林の中では10アールあたり250本以上の植林地については、県と市で補助金を出し、この事業を奨励しています。補助金交付申請書の受付期間は12月20日までとなつておりますので、ことしすでに植林を終えられた方は、すぐに市林務課へ補助金の交付申請書を出して、検査を受けられるようお願いいたします。

年末になると平常の数倍に達する郵便物が殺到するので、皆さんにご迷惑のかかることのないよう、つきのことにご協力をお願いします。

◎小包郵便物は15日、年賀ハガキは22日までにお出しください。

◎会社などで年始に休業するところは希望により引日に配達します。

◎古状(封書)は、ことしから年賀特別扱いをしないので、差し出し時期に注意してください。(郵便局より)

## 各家庭に簡易消火器を

毎年冬になると火事の発生率が高まります。消防署ではつぎの場合、プロパン、石油、油脂、アルコール、電気火災などに効力のある家庭用粉末消火剤「ホーム」をお世話しています。購入ご希望の方は12月20日までに消防署へ申し込んでください。価格は300グラム入、用器共に320円です。この消火剤は乾燥した所に保管すれば5年位は有効です。

## みんなで育てよう 六間のアカシヤ

11月12日六間通りのグリーンベルトに市商工課員の手でトゲナシアカシヤの苗木40本が植えられました。

六間のアカシヤ並木は市充足当時多くの費用を投じて植付けたものですがその後、心ない人のために折られたり傷つけられ、毎年多くが枯れ、美しい並木が復活けとなつたので、こんど補植したものです。

植えたアカシヤがだれにも傷つけられることなく育ち、やがておい度る並木が私たちの心をなぐさめ、いいの場となるようみんなで育てたいものです。(写真はアカシヤの苗木を植植する市商工課員)



## 唯野一勝原間開通 12月15日から

長らく不通となつてきた越美北線の唯野一勝原間はいよいよ12月15日から開通の予定です。

昨年の第2室戸台風で九頭竜第1鉄橋の右岸62メートルが橋脚もろとも失し、その復旧が急がれていました。このほど工費2千380万円、流心部を鉄骨トラスとして、完全復旧されたものです。

(写真は復旧した第1鉄橋)

## 固定資産の評価 換えについて

こんど自治省の指示に基づき固定資産(田、畑、宅地、山林、家屋)の評価を昭和39年迄に全般的に換えることになりました。評価換えをする理由は

1 現在評価している賃貸価格の倍率方式では、年々推移している土地の現況と著しい差異が認められ、評価額が適正でない。

2 同一の資産を国、県、市等が異なる評価をして課税の基礎としている。

3 現行の評価額は法に示されている適正な時価としては甚だしい差があるというものです。このため関係地区に調査員が出向いた折はとくに協力ください。

## 赤でんわ(公衆電話) のご利用について

市内の公衆電話をもつと広く誰にでも気軽に使つていただくため、次のことからにご協力ください。  
1 赤でんわによる「呼び出し」は時間がかかつて、他の利用者に迷惑ですから、できないことになっております。また、通話はできるだけ要領よく短かく済ましてください。  
2 赤でんわからの電報発信もできますからご利用ください。  
(大野公衆でんわの会より)

## 年末の郵便物はお早く

年末になると平常の数倍に達する郵便物が殺到するので、皆さんにご迷惑のかかることのないよう、つきのことにご協力をお願いします。  
◎小包郵便物は15日、年賀ハガキは22日までにお出しください。  
◎会社などで年始に休業するところは希望により引日に配達します。  
◎古状(封書)は、ことしから年賀特別扱いをしないので、差し出し時期に注意してください。(郵便局より)